



入塾案内



農業実践塾

「農業をやりたい!」と熱い気持ちを持っているあなた!
 宮崎の大地で『夢』をかなえてみませんか?
 経験がなくても『やる気』のあるあなたに
みやざき農業実践塾があります。

平成29年度
塾生募集!

	経営実践コース (1年間・半年間)	基礎体験コース (1年間)
研修期間	平成29年7月～平成30年6月 ※半年間は平成29年12月まで	平成29年6月～平成30年5月
研修内容	野菜栽培技術等の実践研修	インターネットを活用した 農業基礎研修
入塾申込 手続き	履歴書、入塾申込書、研修希望内容書に就農希望市町村の意見を付して、下記申込先へ提出します。(3×2.4 cmの写真を同封) ※就農希望市町村が未定の者は宮崎県新規就農相談センター(社)宮崎県農業振興公社内の意見を付してください。	申込書に必要事項を記入の上、下記の申込先へ郵送・FAXにてお申し込みください。 ※申込書は「みやざき農業実践塾」のHP(http://lupinus-p.jp/m_juku/)よりダウンロードできます。
研修費	1年間 48,000円 半年間 24,000円	1年間 2,000円 (実習の際、実費を徴収する事があります。)
募集人数	14名程度	20名程度

募集期間 平成29年 2月1日(水)～5月10日(水)

お問い合わせ 宮崎県立農業大学校 農業総合研修センター
 (指定管理者:学校法人 宮崎総合学院)
 〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5732 TEL:0983-23-7447 FAX:0983-21-1744



平成28年度塾生

宮崎県立農業大学校 農業総合研修センター
 (指定管理者:学校法人 宮崎総合学院)

実践塾とは

宮崎県内で新たに就農を目指す人を対象に、就農に必要な**農業の基礎知識や栽培技術**等を修得していただくための研修施設です。

経営実践コース

研修期間 1年間・半年間
定員 14名程度

農業大学の栽培施設（ハウス）や露地ほ場等を利用して、就農に必要な野菜栽培についての実践的な知識・技術の学修ができます。

◆座学による基礎・専門知識の修得

7月～8月にかけて実践塾の専任講師や外部講師が、土づくりや病害虫防除、作物ごとの栽培方法などについて講義を行います。



◆実践研修

栽培作物が決定したら、各自に割り当てられたハウス（4a程度）または露地ほ場等において、播種から収穫、出荷調整までの管理作業を行います。



基礎体験コース

研修期間 1年間
定員 20名程度

ブログを通じて、野菜の生理・生態や栽培技術等、農業の基礎的な知識・技術を修得します。

また、年に4回程度の農作業実習により、実践的な学修ができます。



◆作物の選定

入塾1ヶ月後、就農を見据え、塾で栽培する作物を決定します。就農後の農業経営がスムーズに図れるように本県の主要野菜である、きゅうり・ミニトマト等を主にすすめています。



◆その他研修

研修期間中は、大型農業機械の運転免許試験を受験することができます。また、市場の流通研修、先進農家視察研修等を行うとともに、農業大学で開催されるイベントでの農作物の販売研修もあります。



塾生からのメッセージ



奥村 慎之介
栽培作物 ビーマン（施設園芸）

私は、実家が農業を営んでおり、働く父の姿にあこがれて農業という仕事に興味を持ちました。高校を卒業後、農業関係の学校に進みましたが、さらに実践的な勉強がしたいと思い「みやざき農業実践塾」が家からも近く、設備も整っていると知り入塾しました。

宮崎といえばピーマンという印象が強かったので、品目はピーマンを選択しました。実践塾では、栽培技術の基礎から、将来経営していく上で必要な知識など幅広くご指導いただいております。農薬の種類や使用方法、植物自体の生育も、管理のやり方ひとつで結果が大きく変わる事など、日々の研修の中で新しい発見があり、毎日がとても充実しています。就農するのが楽しみです。



長友 美沙
栽培作物 ミニトマト（施設園芸）

私は幼い頃から、農業をしている祖父を見て育ち、将来農家として生きていきたいと考えていました。しかし、いざ就農しようと思っても知らないことが多く、こんな状態ではとても就農できないと考えていた時に実践塾のことを知り、脱サラした父と共に入塾しました。

実践塾では、父と4aのハウスでミニトマトの栽培を研修しながら、塾生や先生方に支えられ、日々楽しく学んでいます。

私は「みやざき農業実践塾」が農業を学ぶいいきっかけとなりました。失敗しても助け合える仲間がいます。農業をする大変さや楽しさを、ここで過ごして体験してみませんか！



山崎 賢司
栽培作物 ミニトマト（施設園芸）

広島出身の私は高校卒業後、大阪で調理師をしていましたが、以前より興味があった農業をやりたいと思い、環境や気候の良い宮崎に移住してきました。最初は、初めての土地で不安もありましたが、関係機関の方々や友人からのアドバイスもあり、実践塾を見学し入塾を決めました。

実践塾は、同じ目標を持った仲間と共に、高い意識を持って、就農に向け取り組める環境があります。また、先生方の丁寧で熟練された指導は、就農後必ず役に立つと感じています。宮崎県内での就農を目指す方は、まず「みやざき農業実践塾」で研修される事をおすすめします。

私は今、みやざき農業実践塾できゅうりの栽培を研修しています。初めは不安が80%、期待が20%でした。一緒に入塾した仲間の農業に携わった話を聞くと、知識も経験もない自分に本当にできるだろうか？というのが一番の不安でした。

講義で学ぶことは初めて知ることばかりでしたが、自分なりに知識を身につける事ができ、不安は減りました。実習では、県の指針を基に作業を行います。自分の考えやインターネットなどの情報を取り入れて作ることも可能ですが、実習に取り組む中で基礎が一番大事だと実感したので、実践塾では指針通り基礎を学ぶ事をおすすめします。これから農業をしたいと思っている方、選択肢は多数ありますが、自分に合った場所を見つけてほしいと思います。



齊藤 真直
栽培作物 きゅうり（施設園芸）



節賀 誠司
栽培作物 いちご（施設園芸）

私は、現在会社を経営していますが、これからの将来を見据え、作物の需要はあるにもかかわらず従事者人口が減り続ける農業分野に進出し、農業法人を立ち上げる足掛かりとして「みやざき農業実践塾」に入塾しました。

農業経験も知識もありませんでしたが、座学や日々の研修を通じて、先生方より熱心にきめ細やかにご指導いただきながら、農業とは先々を読み、自ら考え知恵を出し工夫する「脳業」を実践していく事が大切である事を学び、農業の奥深さを日々感じております。

農業を志す皆さんにとって、これ程環境が整った場所は他にはありませんので、「みやざき農業実践塾」をおすすめします。ただし、やる気と将来のビジョンは準備してきてください。

